

▲▽ 研修会特集 事例報告 ▼▲

患者図書サービスを試みて

矢口 和子

I. はじめに

絵本は、各自治体単位でも新生児や乳児に絵本やガイドブックを配るなど絵本を通して子供の成長、親子のきずなを深めることを目的として注目されている。

各新聞にも連日、絵本や読み聞かせについての記事が目立つようになった。

絵本は、子供のためでなく、親や大人にとっても心豊かにしてくれるものであるということも注目されている要因であろう。

私たちは、日本で唯一「産院」と名のつく施設で、単なる図書の充実だけではなく母と子にやさしい、いのちにやさしい図書の充実を図ることを目的として試みている。

II. 対象と方法

対象は、当産院に通う患者とその家族、主に妊産褥婦やその夫・子供である。

まず最初に絵本の会を発足。会のメンバーが図書を選抜・購入(140冊)し産科外来、小児科外来、分娩室及び家族待合室、褥婦病棟、妊婦・婦人科患者病棟にそれぞれの特徴を持った絵本、写真集などを新しく購入したカラフルな書架に配架した。(NICUの図書は準備中)集めた本の基本のテーマは「いのち」で、外来にはこれから親になろうとする人の喜びや不安、とまどいなど様々な心理に寄り添えるような本を中心

に、褥婦病棟には育児の合間に簡単に読めて、気分転換ができたり心理的に不安定になりやすい上の子と共に読むことができたり、今後の育児の心の支えになるような本を、切迫入院などが多い妊婦病棟には、ほっとできるようなまたその入院の期間を利用してお産について、育児について、いのちについて改めて考えることができるような本や、母親が長期入院中の子どもがそれをやさしく受け入れられるような本を用意した。また利用者数と対象者の特性に合わせて本を選別するが、約2ヶ月ごとに図書の配置交換を行っている会の活動を知ってもらうため月1回、絵本だよりの発行、待合室の電光掲示板に表示の広報を行い各書架にアンケート用紙を設置した。

III. 結果

カラフルな本や書架があることで病棟の雰囲気も明るく、やさしくなった。

アンケート用紙の回収が少ないため対象者からの直接の反応としては事例にとどまるが「待ち時間が楽しく過ごせるようになった」

「もっといろんな本を置いてほしい」

「〇〇という本がお勧めです」といった意見やまた「この本はどこで購入できるか」といった問い合わせまで聞かれた。また間接的な反応としては、外来では待ち時間に絵本を手にとって見る人や子どもに読んで聞かせる人がいたり、妊産褥婦の多い病棟ではベットに横になりながら読んでいる人も見受けられた。

また面会にきた家族や夫が子どもに読んで聞か

YAGUCHI Kazuko

葛飾赤十字産院

せる場面もあった。

IV. 考察

当産院では、外来が非常に込み合っており、長時間待たせてしまうことが多い。

その際十分な声かけができればよいが、業務の関係上おざなりになってしまうことも多々ある。そんな時、絵本を手に取り自分なりの時間を過ごすことで、少しでもストレスが解消できたり知識の向上に役立つことができれば、対象者としても「待たされた」という感情が和らぎ、次回来院した時も絵本でも読んでみようかという気になれるのではないだろうか。そういった些細な感情の変化が患者-医療者関係の構築に対する潤滑油となったり信頼の向上に役立つと考えられる。

病棟においては、長引く入院生活でのストレスで気分が落ち込んだり不安になっている妊婦が、美しい景色の画集を見たり、これから訪れる出産や育児のすばらしさについて描写された絵本を読むことで、少なからず気持ちが和み、希望につながったりしているようであった。

また、小児科外来や褥婦の多い病棟においては、経産婦やその家族が幼児に絵本を読み聞かせることで情緒不安定になりがちな上の子供が母親や家族と密接な時間が過ごせたりといった効用もある。母親や家族にとってはどんな本を

選んだら良いかという指標になったり、読み聞かせの効用という新たな発見をするのにも役立っていると考えられる。

V. まとめ

今回、母と子にそしてその家族に対してもやさしい図書を配架することで、これまでの母子中心の産院のあり方がより明確なものとして見えてきたのではないかと思う。

産院が単なる産むところ、病気を治すところではなく、母と子、家族のずっと先を考えたところになるよう今後も対象者のニーズを把握しながら活動の評価を行い、より良い図書を提供できるよう努力して行きたいと考えている。これからの課題としては

1. 他の育児支援のプログラムとの連携
2. 利用者のニーズの把握の方法の検討
3. アピールの仕方
4. NICU、分娩室への配架があげられている。

参考文献

- 1) 渡辺順子：絵本の世界と育児文化の創造－読み聞かせガイドブック。エイデル研究所。1994
- 2) 園田とき：こんなときこんな絵本。子どもと読みたい絵本 300冊。草土文化。1997

